

会議録（要旨）

【開催概要】

会議名称	第20回泉大津市子ども・子育て会議
開催日時	令和3年12月21日（火）15:00～16:30
開催場所	泉大津市役所 3階 大会議室
出席委員 (名簿順表記)	長瀬委員（会長）、久委員（副会長）、川西委員、村田委員、萩上委員、 澤田委員、亀谷委員、高橋委員、榎並委員、平委員、秦委員、 納谷委員（計12名）
欠席委員	大橋委員、貫野委員、田中委員
事務局	竹内教育長、丸山教育部長、藤原健康こども部長、 内田教育政策課長、近藤スポーツ青少年課長、臼井指導課参事、 堀田子育て応援課長、里見こども育成課長、深澤障がい福祉課長、 濱辺福祉政策課長、河合こども育成課長補佐、小島こども育成課長補佐、 寺田子育て応援課長補佐、子育て応援課：岩住
会議次第	1. 開会 2. 案件 (1) 泉大津市子ども子育て会議委員改選について (2) 泉大津市の子育て環境の現状について (3) 第二期泉大津子ども未来プラン推進施策の実施状況について (4) その他 3. 閉会
配付資料	【資料1-1】泉大津市子ども・子育て会議委員改選について 【資料1-2】泉大津市子ども・子育て会議委員一覧 【資料2】泉大津市の子育て環境の現状について 【資料3】第二期いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について
公開／非公開	公開
傍聴者	2名
その他の必要な事項	なし

【議事要旨】

事務局	1. 開会 ・竹内教育長あいさつ ・会議成立要件の確認（委員 15 名中 12 名が出席のため成立）
会長	2. 案件 (1) 泉大津市子ども子育て会議委員改選について ●資料 1 に基づき説明（子育て応援課）。
事務局	◇ご説明ありがとうございました。本件につきまして、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。それでは、新しい委員のみなさんどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	(2) 泉大津市の子育て環境の現状について ●資料 2 に基づき説明（子育て応援課）。
会長	◇ありがとうございました。泉大津市の子育て環境の現状についてご説明いただきました。何かご意見、ご質問、あるいはそれぞれの立場からの情報提供等もありましたらぜひいただければと思いますが、いかがでしょうか。少しお考えいただいている間に、私からお伺いいたします。今年度、このコロナ禍の状況下で、幼稚園、保育所、こども園への登園の理解や、家庭保育での協力状況などについて、行政が掴んでいらっしゃるものと、今日お見えいただいている先生の園はいかがだったかということをお知らせいただければと思いますがいかがでしょうか。
事務局	●令和 3 年度のコロナ禍における登園控えにつきまして、行政としては休園という形は今回の間では取ることはありませんでした。各施設でコロナの患者や濃厚接触者が出たことで、一時的に園を閉めなければならない状況が発生したことは数回ございますが、基本的には保育教育を受けていくというところでの一年間やってきたところでございます。
会長	◇ありがとうございます。くすのき認定こども園はいかがでしたか。
委員	◇10 月までの緊急事態宣言が解除されるまでは、短時間部に関してはご協力を得られる方ということで、夏のサマースクールとして自由登園で保育日ではないという日を設けていましたが、特に夏がピークでしたので、それを中止させてもらう形になりました。2 学期は特に 9 月に入ってもまだ緊急事態宣言が延

	<p>びていく中で、保護者の方に関しては、子どもさんやご家族の健康面と、子どもたちの2学期に向けての行事参加の面ですごく迷われている方がいらっしゃいましたので、園でも全園長で相談した上で全園での取扱いとしてお知らせするというので、本園では9月中の毎週の運動会の練習は中止させていただきます、その他の行事も延期させていただきます、ご家庭の健康面を優先にお考えくださいとお知らせしました。おうちに持病のある方がいて控えている方がいらっしゃいましたが、そういうことを謳うことで保護者の方々も安心されてお休みされる方もいらっしゃいました。去年度と比べると出席する人数は増えたように思います。去年度は全面休園という形もあったので、長時間部のお子さんもお協力を得られる方は多かったですが、去年度の動きを見て園も色々な工夫で動き始めていたので、そこまで大きくお休みが多くてなかなか子どもが揃わないというよりも、たくさん来る中でどのように園運営を進めていくのかを考えながら今年度を進めています。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございます。要保育所はいかがでしたでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>◇保育所は仕事を持っている方がほとんどなので、お休みされるという方はほとんどありませんでしたが、できる限り早くお迎えに来ていただくようお願いしたところ、いつもより早めに来ていただいたというご協力がありました。運動会を延期するなど様々な感染予防のための対処をしましたが、保護者の方も協力的で、仕事がお休みの時は家で見ますと言ってくれたりなど、強制的にお休みいただいたというより、保護者自身が自分たちの身を守るために自主的にお休みしていただいた方が多かったと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございます。和泉市私立幼稚園連合会はいかがでしたでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>◇当園には7市町村から来園していただいています。泉大津市の子どもたちも1号認定はとて多く、バスで通っていただいている方が多い状況です。今、先生方がおっしゃっていたように、当園も緊急事態宣言の間、早めのお迎えのご協力をお願いしますと、あくまでご協力をということでお伝えしていましたが、市町村間でその感覚が違うのかなという問題がありました。近隣の幼稚園、保育園、小学校、中学校が軒並みコロナの陽性者が出て休校や休園になった時期があり、当園にもすぐに来るかなと思えば危機感をさらに高めて、その期間、育休中の方で保育園認定を取られている方などに、できるだけ早くお迎えに来てくださると、もちろん強制ではないですが、少し強めに言わせてもらった時に、ある保護者の方がある市役所に「早く迎えに来るように言われてこちらも困っている」と電話をされたことがありました。その市役所にこういう要請をしてはいけないですかという確認をしましたが、行政としては保育を保証することを拒めない、また、早めのお迎えをしていつも10時間いる子が8時間</p>

<p>会長</p>	<p>になったからといってあまりコロナの対策にはなっていないのではということ を言われました。少しでもリスクを下げたいと思ったのですが、行政間で差が あるということを感じました。そのあたりを、国からの基準や一定のラインな どを出して、もう少し固めてもらっていた方が良かったかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>◇ありがとうございました。広域に登園しているならではの行政間のことをお話 ししていただきました。地域子育て支援センターはいかがでしたでしょうか。</p> <p>◇コロナ禍で地域子育て支援センターのおやこ広場は去年の4月、5月は園所と 一緒に閉めさせていただきました。それ以降はコロナの感染症対策を実施しな がらのため縮小せざるを得なかったのですが、それでも開いてくれることが嬉 しいと、かなり喜んでいただけたと思っています。おやこ広場での相談から見 えてきた子育て環境の現状が2点ほどあります。1点目は、一時預かり保育や 満3歳児クラスに関するお問い合わせが非常に多くなったということで、家 の中で子どもと2人きりであるのがしんどいというようなお声いただいでいて、 どこかに預けてちょっとリフレッシュできるところはないだろうかとか、ちょ っと働きに行ってみたいとか、そういうご相談も多くなりました。祖父母もお 仕事をしているような状態であったり、転勤でこちらに住むようになって実家 が遠く地元でなかったり、色々な理由があるようですが、子どもを見てもらえ る人や子育てを助けてもらえる人が周りにいない人も多いと感じました。緊急 事態宣言やまん延防止措置、園所の事情などで、一時預かり保育が使えない事 態もあつたりして、満3歳児保育クラスへの質問も多くなったのかなと感じて います。2点目は、公立園所で「親子で遊ぼう体験会」というものをしていた だいでおり、お母さんたちが入園所を決めるために、そこに参加されて園の雰 囲気や、園の遊びの体験をしていただくことで、不安に思っていることが払拭 されたりするようだったのですが、昨年度はこのコロナの中でそれが中止にな ったということがあつて、今年度は先生方も考えていただいて、限定開催では ありましたが開催していただけたことはすごくありがたいというお声をいただ きました。来年度もどんな形で実施できるかは分かりませんが、また継続して 実施いただけたらと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございました。ご質問でも、今のように状況をお話しいただくのも 良いと思いますが、他の方はいかがでしょうか。では、今お話しいただいた現 状も踏まえまして、泉大津市の子育て環境の現状について、みなさんと共有し たということで、次の案件に移らせていただきます。</p> <p>(3) 第二期泉大津子ども未来プラン推進施策の実施状況について</p>
<p>事務局</p>	<p>●資料3に基づき説明（子育て応援課）。</p>

会長	◇ただいま事務局より説明がございました。本件につきまして、ご意見やご質問はいかがでしょうか。
副会長	◇計画の第二期に入って、今まで以上にPDCAを回そうということで、この報告と資料を作っていただいたと思いますが、全体的にPDCAでいうとDがほとんどですよ。実績のところをやりました、何回やりましたという報告がありますが、その成果がどう出ているのか、それに対してどういう課題が残されたのかということがあって今後の目標に移っていくはずですが、全体的に見て、CからAへという点が弱いと思いましたので、次の評価をするときは、もう少しCとAがしっかり回るような形でお示しいただくと、我々もここまで進んでいるのか、どこが課題として残っているのかということが共有でき、他市ではこういうことやっていますとか、こういうようなことでさらにいい方向に行くのではないですかという話ができると思いますので、次の評価の時はその点をご留意いただければと思います。
会長	◇今の点につきまして、事務局はいかがでしょうか。
事務局	●ご指摘ありがとうございます。この評価につきましては、各部署にお渡しして評価いただき、取りまとめを行っておりますので、次年度につきましては、評価の視点を詳しくご説明をした上で各部署の取りまとめをして行きたいと考えます。
会長	◇ありがとうございます。では、次年度に生かしていただければと思います。他の方、いかがでしょうか。お気づきの点がありましたらお願いいたします。
委員	◇3点質問させていただきます。1点目に、22ページの5番の「子ども医療費助成事業」です。現在、中学校3年生終了時までの補助をいただいておりますが、他市では18歳まで補助をされている市もあります。泉大津市もさらなる延長を検討されていますでしょうか。2点目に、25ページの1番の「こどもの居場所づくり事業」です。現在、市内で5団体が子どもの居場所づくりの活動をされているということですが、私が知っているのは2か所ぐらいしかありません。他の居場所は泉大津市内に点在しているのか集中しているのか、子どもが夕方や放課後に通うと思いますが、できるだけ地域の中で通いやすい場所に点在していることが望ましいと思いますが、どのような場所にあるのかを教えてくださいました。3点目に、28ページ11番の「子ども会活動、スポーツ少年団活動などの充実」ですが、スポーツ少年団など、地域の小学校の施設や校庭、体育館を利用して活動している団体がたくさんありますが、来年度から校庭開放の事業が無くなって、今までは校庭を自由に使わせてもらっていたも

<p>会長</p>	<p>のを、大人の団体も子どもの団体も利用許可が必要となり、使うと言ったところから使えるようになるという変更になるのではないかという、場所取りが必要みたいなことになるのではないか、制度が変わると聞いたのですが、そうするとスポーツ少年団などの活動がしにくくなるのではないかと心配しているのですが、そのあたりの状況を教えていただきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>◇ありがとうございます。3点ご質問がありましたので、順次お答えいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>●1点目の医療費助成ですが、委員がおっしゃる通り、他市で18歳までに段々と拡充されてきています。我々としましても市民ニーズが非常に高いと認識しており、拡大に向けて現在検討しているところです。まだ時期をお示しできる段階ではございませんが、その準備に取り掛かっていきたいと考えているところです。2点目の居場所づくりです。5団体と記載させていただいているのは、本市から実施団体に補助金をお渡しする仕組みがございまして、それを使っておられるところが5団体ということであります。他にも、補助金はお渡ししていないけれども実施いただいているところ、宗教団体で行政からの補助なしでいただいているところ、実施いただいておりますが広報で大きく周知するほどの規模ではない、色々な状況から広報には掲載してほしくないという団体もあります。実際は、現段階では12団体が居場所づくりを開催してくださっています。広報では8団体が記載されています。場所につきましては、私どもも子どもが歩いていける、小学校区に1か所ぐらいが目標と考えていますが、この事業は行政が直接運営するのではなく、地域や団体の多様な活動を行政として支援していくという形を取っていますので、開催したいというお声があった時には私たちも一緒にご相談させていただいておりますが、ここの場所がないからどなたかしてくださいというような依頼は難しく、場所に多少偏りがあることは私たちも認識しています。少ない地域や小学校区については、我々もそういう活動ができる団体がないかということに気しながら活動を推進し啓発しているところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございます。校庭開放の事業はいかがでしょうか。</p> <p>●校庭開放事業につきましては、校庭開放指導員が各学校区にいて土曜日、日曜日に校庭開放しておりましたが、令和4年度からは廃止することとなっております。校庭開放指導員が開放して子どもが自由に土曜日と日曜日の9時から5時まで遊べるというようにしておりましたが、実際は団体が使われていて施錠されているところもありましたので、使用していないところを広く使っていただくことを考えています。学校の体育館はシステムを導入してご利用いただくのですが、子ども会、PTA、スポーツ協会、スポーツ少年団、青少年育成に</p>

	<p>関わる団体、それらの活動をされている方については優先的に活動ができるような形を確保してシステムの導入を行っていかうと考えております。校庭開放事業という形では終了しますが、空いている日は開放することも今後考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>◇体育館を子ども会などが優先的に利用できるとおっしゃられますが、校庭も同じでしょうか。</p>
事務局	<p>●校庭も同じです。子ども会が土曜日、日曜日に使われているというところもありますので、活動が不定期になると今後もなかなか活動ができないというところも聞き取りさせていただきまして、そのように活動ができるような状況を取っています。</p>
会長	<p>◇活動の継続を図っていただくということで理解しました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>◇25 ページの「相談体制の充実」について、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーは分かるのですが、専門相談員とはどういった方でしょうか。</p>
事務局	<p>●スクールカウンセラーについては大阪府から中学校に配置されているスクールカウンセラーのことを指しております。そして、専門相談員は免許としては心理士となりますが、この方たちについては泉大津市教育支援センターに勤務しているカウンセラーとなります。</p>
会長	<p>◇併せまして、相談の内容について、こういう相談内容が増えているとか、よくあるというものがありませんか、少しご紹介いただけますか。</p>
事務局	<p>●相談内容の中身は多岐に渡り、また、なかなかセンシティブな情報でもあるのですが、多くは子育てについてのお母さんやご家族からのお悩みということになるかと思えます。</p>
会長	<p>◇ありがとうございます。他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>◇私は高校2年生と小学校4年生の自閉スペクトラム症の子どもの保護者です。現在は一般社団法人泉大津発達支援勉強会リアンという親の会の代表でもあります。自閉スペクトラム症支援者のペアレントトレーニングのトレーナーでもあり、いつも御市では発達障がい児への支援にご尽力賜りありがとうございます。質問ですが、14 ページ7 番「発達障がいの支援体制の充実」のペアレント</p>

	<p>トレーニングについて、ここに記載の1クール6回は、私がトレーナーとして知っている事情によりますと幼児期のペアトレになるかと思いますが、何人受講されたでしょうか。学齢期のペアトレでは10回のコースで行うことになっていますが、それは現状行っていらっしゃらないのかなと思ったのですが、その部分をお尋ねします。また、現在、障がい福祉計画第5期が行われていると思いますが、私は大阪府の会議にも出席しており、第6期の障がい福祉計画はもう決まっている状況になっています。まだ市には下りてないと思いますが、そこにはペアレントメンターを活用して行くということが決まっています。ペアレントトレーニングは推進されておられるかと思いますが、今後、メンターの活用もぜひお願いします。もう一点は、14ページ8番「総合的な支援体制の整備」の内容ですが、泉大津障がい者親の会について、私も会員ですが、情報共有など連携されておられると思いますが、現在、市内の小中学校在学の子どもの保護者はほとんどおられない状況ということも会員として私自身把握していますが、学齢期のニーズはどちらから情報を取ってらっしゃるのかお伺いしたいです。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●ペアレントトレーニングの実績ですが、おっしゃる通り、就学前のトレーニングの教室になります。少しバラつきがありますが、令和2年度の実績としまして5組、延べ30人です。多い年では、3年ほど前ですが7組40人といった状況でした。広くたくさんの方々が集まっていたく講座とは違い、保護者とのやり取りを大事にしていることもあり、少人数制で行なっています。また、学童期のペアレントトレーニングの件ですが、こちらは数年前には実績がありました。現在は対象の方にこちらから啓発ができなかった点やマンパワーの問題等もあり、一旦中断して現在では実施しておりません。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●計画に関するご質問についてお答えさせていただきます。本市も全国の自治体もどちらもですが、令和3年度から第6期障がい福祉計画と第2期障がい児福祉計画がスタートしており、特に国や大阪府から計画的に事業をして行くように示されている中でも、確かにペアレントトレーニングや支援プログラムを開催、実行して行くということについても触れられおり、市としても進めていこうとしているところです。急に基盤がない中で下りてきているということもあり、なかなか先に進めていないところでもありますが、これは国からも示され取り組むべきことということは認識しておりますので、これからも取り組んでいきたいと考えているところです。学齢期のニーズ把握についてですが、計画策定の時に、手帳を所持している成人期の方や学齢期18歳以下の方にもアンケート調査を行ってニーズ把握をしております。また、障がい児通所支援等のサービスを使っておられる方ですと、親御様や相談支援員からニーズを個別に伺っており、そういうところで障がい児支援についてのニーズ把握を進めているところです。

副会長	<p>◇委員がお話しされた 14 ページ 8 番「総合的な支援体制の整備」で障がい児親の会との情報交換を進めるということですが、他市でも行政の方々が手厚いサービスを提供すればするほど、親の会の参加者が減ってきています。かつては当事者同士が手を繋がないとなかなか難しかったので、こういう親御さんの方の連携が強かったのですが、今はそういうことしなくても個別に連絡を取り合えるので親御さんの連携は必要ないと認識される方も増えてきて、中々難しいなとも思います。ここで書いているのは、ニーズを吸い上げて反映することだけではなく、親御さんも一緒に子ども達に寄り添いながら支援をしていく体制をより強化しましょうと書いており、障がい児親の会ともより協力しながら進めていくという趣旨で書いていると思うので、そのニーズを的確に捉えて、それを色々な施策に繋げていますということだけではなくて、もう少し連携という意味でより強化していただければありがたいと思います。そうすることによって、一緒に取り組むという姿勢がどんどん増えてくるはずなので、市にとっても非常に重要だと思いますので、今後そういうこともかなり意識をしながら研究していただければと思います。</p>
会長	<p>◇今のご意見を参考に取り入れていただき、連携の強化に着手していただければと思います。</p>
委員	<p>◇26 ページの「適応指導教室の充実」のところで、登校できない児童生徒に対して集団生活への適応や学校生活への復帰を支援しますという文言が少し引っかかりました。ホームエデュケーションやNPOなど、学校以外の活動に参加して、学校に行かない選択もあるということを感じています。</p>
会長	<p>◇学校への復帰だけがゴールではないということですね。計画はこの表現で策定されていますが、この会議の中では、もちろん集団生活に復帰したい、適応したいと思っている方への支援と、それ以外の選択肢も含めての支援ということでご理解いただいてよろしいでしょうか。事務局として、もちろん復帰したいと願う生徒に対しての支援はされていると思いますが、その点はいかがでしょう。</p>
事務局	<p>●委員からご指摘ありました通り、この計画を策定した時の内容としては文言的に集団生活への適応や学校生活への復帰を支援しますということになっていますが、同じ列の 1 番右、今後の課題・目標では、集団生活への適応の推進や学校復帰だけでなく、社会との関わりを持つことを目指した支援を行う必要があると認識しておりますので、ご指摘の部分をそのまま来年度反映になるかどうかはまた精査させていただきますが、社会との関わりを目指した支援を行っていくということでご理解いただきたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>◇今後の課題と目標のところでは表記されていますように、学校復帰だけではなく、もちろん学校復帰を望む方への支援もそうですが、それ以外の社会との関わりの中での支援ということも含めて、今後検討していき、表記についてはまたご検討いただくということをお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>◇我々はコロナになる前は子ども食堂をやっておりました。そこには障がいをお持ちの子どもや、貧困家庭の子どもが来ていました。塾へ通えない中学校の3年生の子どもを、あとで勉強を教えているのだと思いますが、学生ボランティアが子どもを連れて我々が作っている子ども食堂へ来ていました。引きこもりの子どももCSWに連れられて来る。みんなの前では食事が取れないのですが、別室で食べて最後に食器を持って我々にありがとうと言って帰る。そういったみんなが集まって寄り添うということを目指して福祉センターでやっておりました。コロナになってからは、いつ再開しますかとお声をいただきますが、まだその段階ではないという答えが私にきています。一番公平な居場所づくりができると考え、福祉センターの1室をお借りして、どこからでも来てくださると両手を広げて待っています。食事数にすると40食位はいつも作っていました。健常者であれ、障がい者であれ、みんな来ていいという形でやっておりました。今後もそういうことを持続できたらと考えています。これはどこへお願いすればいいのか私にはわかりませんが、行政でコロナのためストップがかかっているのだと思います。もし再開可能であるとゴーサインを出していただいたら、我々は精一杯務めさせていただきたいと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>◇ありがとうございます。ぜひ担当課の方は横の連携を取り安全対策も含めてまたご検討いただき、再開の時期にはご協力いただくようお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>◇委員にご指摘いただいた家庭内でも学習ができるようにということの延長になりますが、6ページの3番の「学力向上推進事業の推進」でICTの活用を推進という言葉があり、さらに今後の課題でも、ICTの活用による授業支援、及び、個別学習環境整備を図りますという言葉があります。ここをうまく活用すれば、家庭で同じ質の学習が保証できるということにも繋がっていきます。コロナ禍でこの2年間、大学も色々なことで新しいチャレンジが始まり、大人数に一斉に授業をするという形ではない授業形態がかなり増えてきて多様化してきています。小学校、中学校でも一番困ったのはやはり従来通りの教室に集めて授業をするということができなくなった時にどうするのかということですので、これを契機にもう少し色々な授業形態や学習形態がICTを活用しながらできるような、そういう研究を進めていただいて、各先生方がそれを自分に使えるようにしていただいたら、先ほどの不登校も違う方向で見えてくるのではないかと思います。さらに言えば、同じ教室で集まって授業をする場合で</p>

事務局	<p>も、一斉授業をした場合はどうしても学力差やスピード差があるので中間層にしか合わせていけないのですが、タブレットを使いながら個別に学習してそれを教員が支援をして行く体制になれば、それぞれの生徒、児童のペースで授業を進められるということになるので、GIGAスクール構想もどんどん進んでくるわけですから、そこをうまく活用しながら新しい学習形態の研究を進めていただいて、すべての先生方がそれをちゃんとできるような形で進めていただければと思います。</p> <p>●新しい学習形態ということで、ICTの活用で教職員がしていることをご紹介します。教職員のICT活用については、学力調査でも、子どもたちがタブレットを使った授業をしているかということについては全国よりも高い数値で、子どもたちからも使っているという声が上がっています。教職員も研修を充実させており、使えない教員はいないような状態でやっています。また、色々なことを各学校で模索していますが、学校間で遠隔でお互いに授業をする取り組みや、先ほどお話がありましたが、不登校の子どもに対してタブレットを使ってお話しをするということも教員の中では取り組みを始めております。ICTの活用ができていないというわけではなく、非常に取り組みを加速させ、かつ、充実させているところです。また、市でもタブレットドリルというものを導入しており、ひとりひとりの子どもの学習ニーズに応じた課題とそれに対する取り組み、また、それをくみ取るということも、各学校でも充実して取り組んでいるところでございます。</p>
副会長	<p>◇そのような良い取り組みをやっていらっしゃったということですので、是非とも実績に書いておいていただければと思います。全国に先駆けて、あるいは、全国よりこれだけ進んでいますと、さらにそれを充実させていきたいというように書いていただくととても分かりやすいですし、私たち以外の市民の方が見ても、泉大津市は頑張っているなという評価になるので、次回は、もっとPRすることもどんどん書き込んでいただければと思います。</p>
会長	<p>◇今ご指摘いただきましたように積極的なご意見をいただいておりますので、努力して実施していることはぜひ実績にもあげていただき、その推進をまた今後の課題のところにもお書きいただくようにして、継続的な取り組みにさせていただければと思います。ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。幅広くご意見、ご質問が出たかと思っておりますので、案件3につきましてはここで終了とさせていただきます。みなさんご意見ありがとうございました。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p>●仲よし学級についてご報告させていただきます。昨年度まで仲よし学級は通常</p>

<p>会長</p>	<p>の開設時間が6時まででしたが、今年度より平日の6時から7時まで延長保育を行っております。また、夏休み、冬休み、春休みの期間については受付をしておりませんでした。今年度、長期休業期間限定としまして、上條小学校と旭小学校の2箇所を開設して募集しました。結果、上條小学校が2名、旭小学校が15名の申し込みがあり、上條小学校では通年の学級に長期休業期間限定のお子さんも一緒に入って仲よし学級を受付しています。旭小学校につきましては、通年学級とは別の教室で多目的室を夏休み期間に開設し、民間委託して実施しました。旭小学校での夏休み休業期間限定では、民間でのノウハウを活かした夏休みの過ごし方など工夫された内容が盛り込まれ、利用された保護者へのアンケートでは満足しているとの回答を多くいただいております。今年度の結果を踏まえ、長期休業期間の利用ニーズも考え、各校で長期休業期間限定だけの受付も検討し、この冬期からは長期休業期間限定も合わせて、各学校の通年学級で受付をしております。また、令和4年度につきましても、各仲よし学級で通年学級と合わせて春夏冬の長期休業期間限定の申し込みを受け付けするようになっております。以上です。</p> <p>◇各期での検討、実施を踏まえて、冬期、春期という形で検討していくということで報告がありました。ありがとうございました。他はございませんでしょうか。では、案件につきましては、みなさんのご協力のもと、以上で終了いたしました。事務局にお返しいたします。</p> <p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------	--